

大阪大学 フェローシップ創設事業
「社会と知の統合」を実現する
イノベーション博士人材フェローシップ

2022 年度 欠員募集・二次募集
募集要項

本要項は大阪大学フェローシップ創設事業のうち「社会と知の統合」を実現するイノベーション博士人材フェローシップについて、フェローへの申請資格・申請方法・選抜試験の進め方などを示しています。

申請に際しては、ホームページ (<https://www.cscd.osaka-u.ac.jp/co/2022/001173.php>) に掲載される最新情報を随時ご確認ください。また、申請に際しては 2022 年度 4 月以降の指導教員とよく相談をし、必ず指導教員の了承を得てください。

1. 制度の概要

1.1. 「社会と知の統合」を実現するイノベーション博士人材フェローシップの目的

先端的な科学技術の応用によってイノベーションが生み出されるといった「リニアモデル」の限界が指摘される中、大阪大学では「社会と知の統合」という理念の下、高度な専門力と汎用力を持ち、社会の多様なアクターとの共創によりイノベーションを牽引する新たな博士人材の育成を強化しています。「社会と知の統合」を実現するイノベーション博士人材フェローシップ（以下、本フェローシップ）では、そうした人材への成長を目指し社会と知の統合に関わる活動と研究を両立する学生をフェローとして採用し研究専念支援金と研究費を支援します。

1.2. フェローのミッション

本フェローシップは、「社会と知の統合^{※1}」に関連する学内機関（副専攻プログラム等）に参画する学生を対象に、経済支援およびキャリア形成支援を行うものです。フェローとして採用された者は期間中、上記機関において、社会と知の統合に関わる活動を精力的に行うことを義務とします。加えて、新たなキャリアパスの開拓に向けた各種の取り組みに積極的に参加することが求められます。また、上記に沿った各年度の活動内容について、年度末に報告を行うこととします。

フェローシップ生の義務

- ✓ 社会と知の統合に関連する学内機関（副専攻プログラム等）に参画すること
- ✓ 社会と知の統合に関連する学内機関において社会と知の統合に関わる活動を精力的に行うこと
- ✓ キャリアパス開拓に関連する取り組みへの参加
- ✓ 年次報告の実施
- ✓ その他、面談など本フェローシップが設定する事項を履行すること

2. 申請について

本フェローシップにおけるフェローとして採用されるためには、期日までに申請をした上で本フェローシップ選抜試験（以下、「選抜試験」）に合格する必要があります。

2.1. 申請資格

社会と知の統合に関連する学内機関（副専攻プログラム等）へ所属している者で、かつ下記の要件を満たす者を申請可能とします。副専攻プログラムのうち社会と知の統合に分類されるものについては、副専攻プログラム・高度副プログラ

※1 学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム（Double-Wing Academic Architecture）における領域のひとつ（詳細：<https://itgp.osaka-u.ac.jp/systems/dwaa/>）

ム一覧 (<https://www.celas.osaka-u.ac.jp/senior/minor/>) に記載の DWAA 分類の欄をご確認ください。

種別 A (支援上限期間：3年間)

2022年度7月1日時点、次表に記載されている研究科・専攻・課程に、博士後期課程1年次、5年制博士課程の3年次(修士課程の修了に相当する要件を満たしていると認められた者に限る)、および4年制博士課程の2年次として在籍する者。

種別 B (支援上限期間：2年間)

2022年度7月1日時点、次表に記載されている研究科・専攻・課程に、博士後期課程2年次、5年制博士課程の4年次(修士課程の修了に相当する要件を満たしていると認められた者に限る)、および4年制博士課程の3年次として在籍する者。

課程	研究科・専攻 ^{※2}
博士後期課程	人文学研究科(種別Bの場合、文学研究科および言語文化研究科)、言語文化研究科、文学研究科、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、理学研究科、医学系研究科(保健学専攻)、薬学研究科(創成薬学専攻)、工学研究科、基礎工学研究科、国際公共政策研究科、情報科学研究科、大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科(構成大学のうち大阪大学)
4年制博士課程	医学系研究科(医学専攻)、歯学研究科、薬学研究科(医療薬学専攻)
5年制博士課程	生命機能研究科

ただし、次に掲げる者は申請資格に該当しません。

- 独立行政法人日本学術振興会の特別研究員
- 留学生として外国の政府等からの奨学金を受給している者
- 国費外国人留学生として日本政府(文部科学省)奨学金を受給している者
- 本学が実施する奨学金等を受給している者。ただし、授業料を援助するためのものについては、この限りではありません。
- 本学が実施する他のフェローシップ(超階層マテリアルサイエンスプログラム、分野横断イノベーションを創造する情報人材育成フェローシップ、量子リーダー人材フェローシップ)、次世代挑戦的研究者育成プロジェクトにおいて経済支援を受給する者

上記に示す奨学金等を受給していても、フェローシップの採用月(7月1日予定)までに当該奨学金等の受給を辞退する場合は申請可能です。

※2 専攻の記載のない研究科ではすべての専攻が該当します。

3. 採用について

3.1. 採用予定人数

種別 A：1名

種別 B：2名

3.2. 採用期間

種別 A：2022年7月1日から上限3年間^{※3}

種別 B：2022年7月1日から上限2年間^{※3}

3.3 支援内容

フェローシップ生には、研究及び申請書に記載の活動内容に専念できるよう、研究専念支援金（生活費相当）及び研究・活動を行うための研究費が交付されます。

2022年度の支給予定額は以下のとおりです。

(1)研究専念支援金:月額 17万5千円^{※4}

(2)研究費 :年額 40万円^{※5}

4. 選抜に関する日程

申請書受付期間	2022年5月18日(水)～同5月25日(水) 正午
合格通知	2022年6月中 ^{※6} (予定)

上記に加え、必要に応じて面接を実施する場合があります。面接を実施する場合の日程等については別途メールにて連絡を行います。

なお、障がい等がある者で、申請に際して特別な配慮を希望する場合には原則として2022年5月23日(月)までに本フェローシップ事務局へお問い合わせください(連絡先は末尾の【各種問い合わせ先】を参照)。なお、対応の検討に時間を要する場合がありますので、可能な限り早期のお問い合わせをお願いいたします。

※3 標準修業年限が終了するまでの期間とします。また期間中に在籍している博士課程を退学又は除籍となる等、受給資格を喪失した場合、その時点までの期間となります。なお、フェローシップ支給期間前の休学期間については、標準修業年限に含めないものとします。

※4 初回支給は、2022年7月を予定しています。

※5 採用者が所属する研究科に配分され、指導教員が予算執行権限者となります。

※6 合格通知は各申請者へ個別にメールで通知します。

5. 申請手続

5.1. 申請受付期間

2022年5月18日（水）～5月25日（水）正午【締切厳守】

5.2. 申請方法

以下の事項(1)～(2)全てを申請受付期間内に完了してください。

(1) 申請者情報の登録・申請書類の送付【Web フォーム】

申請者は以下の URL から Web フォームにアクセスしてください。この Web フォームでは必要情報の入力、および次頁5に示す申請書類（様式1, 様式2, 成績証明書）の提出を行います。申請書類は記入後に1ファイルのPDFもしくは1つの圧縮ファイルに変換し、ファイル名を『氏名』としてください（ex.阪大太郎）。Web フォーム上で必要情報の入力および申請書類のアップロードを行った後、送信ボタンを押してください。送信後、申請番号が記載された返信メールが登録したメールアドレス宛に届きます。メールが届かない場合、迷惑メールフォルダもご確認ください。また入力・送信を複数回行った場合、原則として最新の送信内容を採用します。

申請者情報 登録 URL

<https://ws.formzu.net/fgen/S94386482/>

(2) 指導教員の推薦書・合格時の採用承諾書の提出【Web フォーム】

申請者は（1）の送信後、学籍番号を指導教員へ知らせ、推薦書・合格時の採用承諾書の提出を依頼してください。指導教員は以下の URL から推薦書・合格時の採用承諾書を登録してください。

指導教員の推薦書・採用承諾書 登録 URL

<https://ws.formzu.net/fgen/S8879058/>

6. 申請書類

下表に従い申請書類を提出してください。様式はホームページ（<https://www.cscd.osaka-u.ac.jp/co/2022/001173.php>）からダウンロードしてください。

申請書類	
様式1	申請理由書（1000字）
様式2	研究計画書 研究業績一覧（2000字）
	成績証明書 ※修士課程もしくはそれに相当する課程における成績証明書 ※申請日前6ヶ月以内に発行したものに限り

なお、申請書類の準備にあたっては、下記の各事項に注意してください。

- 様式の変更（欄の追加、枠のサイズ変更等）は行わないでください。
- 様式 1, 2 は日本語で記入してください。
- 図表はカラー可とします。
- 申請書類に重大な不備のある場合は受理できません。
- 申請手続後は、原則として記載事項の変更は認めません。
- 申請時に提出された書類は、原則として返却しません。
- 申請書類に虚偽の記載があった場合は、採用決定後であっても採用を取り消すことがあります。

7. 採用決定後の注意事項

7.1. 採用手続きについて

合格通知を受けた者はメール等にて別途通知される手続きに期日までに対応する必要があります。期日までに手続きが完了されない場合、採用が取り消される場合があります。

7.2. 研究専念支援金について

フェローシップ生に支給される研究専念支援金は、税法上「雑所得」とみなされ、課税の対象とされています。所得税の納付について確認し、確定申告等の手続きに漏れがないよう留意してください。

本フェローシップ採用者が、フェローシップにおける活動目的を達成するために、当該活動等の実施に不可欠であるとフェローシップ責任者が特に認めた場合は、他の競争的資金を受けることが可能です。

8. 備考

8.1. 個人情報の取り扱い

- 申請時に提出された個人情報は「選抜試験（申請処理、試験実施）」、「合格通知」、「採用手続」等の業務および本フェローシップに関する業務を行うために利用されます。
- 奨学金に関しては、申請資格確認のため、記載された情報を使用して支給元に問い合わせる可能性があります。
- 選抜試験に用いた試験成績等の個人情報は、試験結果の集計・分析及び選抜方法の調査・研究のために利用されます。
- 上記の業務を行うに当たり、一部の業務を外部の事業者へ委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだうえで、当該事業者に対して、提出された個人情報の全部または一部を提供します。

8.2. その他注意事項

- 本フェローシップへの申請を辞退する場合には、可能な限り早期に下記【各種問い合わせ先】にその旨をご連絡ください。
- 本フェローシップに採用された場合、氏名・所属などがHP等で公表されます。
- 本フェローシップ採用者には、採用期間中および採用期間終了後にキャリアパス等に関する調査への協力依頼を行うことがあります。
- 採用期間中は別に提示する遵守事項に反しないようご注意ください。遵守事項が守られない場合、支給の停止、返還請求等の対応を取ることがあります。

【 各種問い合わせ先 】

大阪大学 全学教育推進機構

「社会と知の統合」を実現するイノベーション博士人材フェローシップ事務局

E-mail : selection@cscd.osaka-u.ac.jp